

平成27年度（通期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1004

施設名	伊丹市立工芸センター		
施設の設置目的	工芸（クラフト）を通して市民の豊かな暮らしを創出するとともに産業の振興と文化の発展を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	実施事業数 (単位： 回)	
	指標の意味	年間の企画展、講座等の実施数	
	今年度の目標値	85	通期の実績値 132

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23	H24	H25	H26	H27(上期)	H27(通期)
	来館者数(人)		38,186	64,739	72,794	59,113	59,060	90,528
延べ事業開催回数(回)		61	83	100	100	104	72	132
延べ事業参加者数(人)		21,574	43,505	52,258	39,265	38,693	71,060	94,560

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	38,907	指定管理委託料	40,222
	事業収入(講座料収入等)	16,566	事業収入(講座料収入等)	17,072
	利用料金	217	利用料金	253
	会費収入	900	会費収入他	1,011
	合計	56,590	合計	58,558
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	31,027	人件費	34,435
	維持管理経費	6,848	維持管理経費	7,278
	事業等経費	6,006	事業等経費	6,006
	自主事業経費	12,709	自主事業経費	13,777
	合計	56,590	合計	61,496
<収支差>		<収支差>		
収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	-2,938	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	0	0	0	0	0	-
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	-
	市の支出	35,315	39,219	41,846	46,629	40,962	-
	(内、指定管理委託料)	35,315	38,562	37,491	38,031	40,222	-
実質経費(歳出－歳入)	35,315	39,219	41,846	46,629	40,962	-	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業務の業務水準が下がらないよう、仕様書による点検や現場のチェック等を随時実施している。また、伊丹市環境マネジメントにもとづき、節電節水等徹底した環境への配慮に取り組んでいる。	A	館内は常に清潔に保たれており、アンケート結果も高評価である。施設の老朽化が進行していく中で、市と適宜協議しながら協定書・仕様書に基づき、適切に行われている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	救命救急講習受講によるAEDの操作法等の習得をはじめ、接遇等の自主研修の開催や各種研修への積極的な参加を行っている。	B	接遇や能力研修などの他、救命救急講習(AED)などにも参加し、能力向上に努めている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を整備、消防署員立会いを含む年2回の防災訓練を実施している。	B	みやのまえ文化の郷で施設間の連携を図っている。また防災訓練も適宜実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施、意見・要望に対し迅速に対応している。職員はもちろん、委託業者に至るまで施設の一員として接客マナー・サービスの向上に努めるよう指導している。	B	アンケート結果をもとに、みやのまえ文化の郷内で定期的に情報交換を行っており、迅速な対応や指定管理者の特性を活かしサービス向上に取り組んでいる。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	施設の特徴を活かし、かつインバウンド需要に対応しうる展示・講座等の開催だけでなく、ジェネレーション修生による市内各所での活動等により好評を得ている。	B	オリジナル性の高い様々な企画展を実施し、来館者の獲得に努めている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	電子データ等すべての情報管理を厳格に行なっている。ホームページだけでなく、ブログやフェイスブックなどを通してを広報に積極的に取り組んでいる。	B	ホームページや広報紙だけでなくSNSなど新しい媒体を取り組む他、各種メディアや団体等に対し、積極的に情報交換を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行している。	B	収支計画に基づき、適切に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	オリジナル性の高い様々な企画展を行い、講座事業では初心者から上級者までの幅広いニーズに対応する講座を開催している。施設、設備の管理については指定管理者としてその状況把握とともに、修繕計画を作成する等、適切な管理に努めていただきたい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」=管理運営が非常に優れていると認められる。

「A」=管理運営が優れていると認められる。

「B」=管理運営が適正であると認められる。

「C」=管理運営が改善を要する水準である。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	・建物の入口がわかりにくいので案内板を出してどうか。	・建物入口および館内各所に、4か国語対応の案内表示を設置予定。
回答者数	・アクリルケース等の展示什器にキズやヨゴレが見える。	・専用クリーナーでの研磨や、塗装などで対応するとともに、定期的に新規購入もしている。
1259		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
特になし。	